

～ 歯科治療が認知症対策！？ ～

近年の様々な研究の結果から
歯科の治療が認知症対策になる
と考えられています！



- ・ 認知症の7割を占めるアルツハイマー病は、「アミロイドベータ」(Aβ)など異常なたんぱく質が長年、少しずつ脳に蓄積し、発症や症状の進行につながるとされています。

- ・ 歯周病の原因菌やその毒素が血管を通じて体内に入ること
で「Aβ」が体内で作られ、脳に蓄積することが、近年の研究で
解明されています。

☆ 九大などの研究チームが、正常なマウスに比べ、歯周病菌に感染したマウスは、脳細胞への「Aβ」の蓄積量が10倍に増えることを明らかにしました。

- ⇒ チームの武洲・九大准教授は「^{たけひろ}歯周病の治療や予防で、認知症の発症や進行を遅らせることができる可能性がある」と指摘しています。



歯科医師・歯科衛生士などによる
専門的なお口のケアを定期的に受けましょう！



※歯の豆知識 No.38「歯科と認知症」もご参照ください。

参考：「認知症の原因物質 仕組み解明 歯周病菌の侵入 蓄積を加速」朝日新聞 2020年10月5日夕刊